

【広社研 研究構造図】

【研究主題】

社会的事象を公正に判断し，社会と主体的にかかわる力を育む学びの創造

【研究副主題】

協働的な学びを通して，社会的な見方や考え方を育てる授業を目指して

【目指す子ども像 1】

社会的事象に主体的にかかわろうとする子ども

【目指す子ども像 2】

協働的な学びを通して社会的事象を多面的に考えようとする子ども

【目指す子ども像 3】

得られた知識や考えをもとにして判断し，意思を表そうとする子ども

【研究内容 1】

社会的事象を多面的にとらえ，公正に判断できる単元構成

《内容 1》

地域素材の教材化と，単元中の位置づけの工夫

1. 知識の構造図の導入
2. 目標を達成させるための有効な教材の開発
3. 社会科としての見方や考え方を育てる

《内容 2》

社会的事象を多面的にとらえられる単元構成の工夫

1. 知識を習得し活用する単元構成
2. 問題解決的な学習展開
3. 「単元の構造図」の設定

【研究内容 2】

自分（達）が考えたことを再考し発信する授業構成

《内容 1》

新たな事実との出会いの場の工夫

1. “問い”を生み出すための教師の働きかけ
2. 社会的事象の意味にせまる学習問題のあり方

《内容 2》

考えたことを再考し，発信する場の設定

1. 考えたことを再考する場の設定
2. 学んだことや考えたこと，自らの意思を表明する場のあり方

【研究内容 3】

子ども一人ひとりの伸びを的確に見取る「評価」

《内容 1》

思考の伸びを見取る「評価」

1. 評価規準と評価基準
2. “思考の伸び”を見取る評価のあり方

《内容 2》

自他の伸びを実感できる自己評価・相互評価

1. より簡便で効果的な自己評価
2. 相互評価の充実に向けて